



株主通信52号 第70期 報告書
(2019年4月1日～2020年3月31日)

Rinnai

証券コード 5947

100年企業として挑戦を続けてまいります。



平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第70期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、ご説明申し上げます。

当期におきましては、当社グループは中期経営計画「G-shift 2020」の2年目にあたり、「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくため、既存商品やサービスの提供だけでなく、国内においては入浴後も温かさが持続するマイクロバブルバスユニットや、海外では給湯性能を高めたコンビネーションボイラーなど、自社のコア技術に新しい技術を取り込んだ独自の商品・サービスの創出を進めてまいりました。販売面につきましては、韓国や中国などで前期を下回りましたが、損益面は、国内における増収効果や原価低減活動により収益は改善し、アメリカでのタンクレス給湯器の好調な販売により営業利益は増益となりました。この結果、当期の実績は、売上高3,404億60百万円(前期比2.2%減)、営業利益344億22百万円(前期比11.5%増)、経常利益356億79百万円(前期比7.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は215億61百万円(前期比5.3%増)となりました。なお、期末配当金を前期比2円増配の1株につき50円、年間配当金では前期比4円増配の1株につき98円とさせていただきます。

当社は2020年9月に創業100周年を迎えます。ブランドプロミス「Creating a healthier way of living」の実現に向けて、安全・安心、環境、健康をテーマに付加価値の高い商品・サービスを提供し、さらなるグローバルブランドとしての価値向上を目指します。以下では、当社グループの中期経営計画の進捗と中期ビジョンについてご説明いたします。

代表取締役社長

内藤弘康

2020年3月期の振り返り

国内は堅調も、海外の減収や為替影響が響き減収増益

国内におきましては2019年10月からの消費税増税の影響があったものの、共働き世帯の増加を背景に、家事の時短化に貢献する「ラク家事」商品として、ガス衣類乾燥機「乾太くん」、自動調理機能付きのビルトインコンロなどの売上が好調に推移しました。また、これまで続けてきた原価低減や新商品投入などの取り組みが実を結び、国内を中心に収益が改善しました。

一方、海外では、米国・中国を中心とした通商問題による世界経済全般への影響が懸念されるなか、当社主要子会社地域では、アメリカでの販売はタンクレス給湯器を中心に好調に推移しましたが、中国、韓国、インドネシアなどで減収となったほか、オーストラリアは現地通貨安の影響も大きく、海外売上高全体では減収となりました。

これらの結果、計画に対して売上高は未達となりましたが、営業利益は中期経営計画最終年度である2021年3月期の数値目標340億円を1年前倒しで達成することができました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響

感染拡大防止策を徹底しつつ、国内外で事業継続

世界的な新型コロナウイルス感染拡大による影響として、各国ごとに細かな状況は異なりますが、現時点(2020年5月現在)では、生産の大幅な停止など直接的な事業活動への影響は出ていません。

当社グループの主力商品は生活必需品であり、底堅い需要はあると見込んでいるものの、長期化への影響は不透明であり、いったん2021年3月期業績見通しを未定とさせていただきました(2020年5月現在)。今後、世界的な感染状況の落ち着きを待つとともに、事業活動への影響度が定まり、適正かつ合理的な算出が可能になり次第、開示させていただきます。

また、従業員の感染防止に向けては、社内に対策本部を立ち上げ、リモートワーク推進など事業活動を継続しつつ感染リスクを最小化する対策を実行しています。

中期経営計画「G-shift 2020」

(G=Global, Generation, Governance)

3つの「G」で新生リンナイへのシフト

Global
グローバル

グループネットワークを生かした
戦略推進と世界に通用する
ブランドへのシフト

「G-shift 2020」

100年培った伝統を継承しつつ
常識を打ち破る
新たな世代へのシフト

時代に沿った経営体制と
企業成長を促す
組織構成へのシフト

Generation
ジェネレーションGovernance
ガバナンス

5つのグループ共通テーマ

1. ブランディングの推進
2. 長期ロードマップの策定と共有
3. 事業領域の拡大
4. 経営資源の最適配分
5. 業務効率と経営の質的向上

3つのプロセス改革

1. 商品企画プロセス
2. 海外事業運営プロセス
3. ジャストインタイム生産プロセス

中期経営計画 数値目標 (単位:億円)

連結	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
	(実績)	(実績)	(当初計画)	(今回計画)
売上高	3,480	3,404	3,720	(未定)
売上高内訳	国内	1,725	1,785	
	海外	1,755	1,935	
	(海外比率)	50.4%	52.0%	
営業利益	308	344	340	
営業利益率	8.9%	10.1%	9.1%	

リンナイの経営戦略

次の100年に向けた成長戦略

事業領域を拡大し、新たな事業の柱を創る

当社グループは創業100周年を迎えるにあたり、次の100年に向けた成長戦略をスタートしています。その一環として、ブランドプロミス（お客様と社会へのリンナイの約束）「Creating a healthier way of living」を定義しました。今後はプロダクトだけでなくサービスも含めて、より健全で心地よく質の高い暮らし方を創造することを企業使命として事業を展開します。また、2030年に向けた中期ビジョンとして、リンナイへの従来イメージ「安全・安心」「信頼性」「高品質」「環境(性能)」を強みとして維持しつつ、世界ブランドとしてリンナイブランドを確立してまいります。

重要課題となるのが事業領域の拡大です。リンナイは創業時の石油ガスコンロなどの厨房機器から、暖房機器、給湯機器と、時代のニーズに対応する商品を提供してまいりました。特に給湯機器はガス高効率給湯器「エコジョーズ」、ヒートポンプを組み合わせた世界初の家庭用ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE（エコワン）」など、グローバル市場での高い環境ニーズに対応する当社グループの戦略商品です。しかし、さらなる100年の成長には、「熱と暮らし」「健康と暮らし」をテーマに、給湯機器に並ぶ新しい事業の柱の創造が不可欠と考えています。



ガスのパワーによるスピード乾燥が家事の時短化に貢献

事業領域の拡大に向けて

既存領域の再強化と、新領域の開拓

事業領域の拡大に向けたテーマの1つが既存領域の再強化です。国内ではガス衣類乾燥機「乾太くん」が共働き世帯や介護・福祉施設等で好評です。リンナイが1990年代に商品化した「乾太くん」は、天候や時間に関係なく短い時間で乾燥できるという商品の特長が、少子高齢化社会の課題解決に寄与する「ラク家事」商品として価値を再認識され、ヒットにつながりました。また、2020年4月には、給湯機器システムを「健康と暮らし」の観点から高機能化したマイクロバブルバスユニットを新発売しています。

事業領域の拡大に向けた2つ目のテーマがこれまでの商品・サービスの枠に留まらない新領域の開拓です。国内では既存領域の再強化を手掛ける開発本部新事業戦略室と、新ビジネスの創出を手掛けるビジネス企画部が両輪となって事業領域の拡大に取り組んでいます。

また事業領域の拡大においては、商品・サービスの開拓と機能強化に加えて、デザイン力の強化と宣伝・広告・広報戦略の強化に努め、リンナイブランドの浸透に努めてまいります。



東京国際空港（羽田空港）の大型広告。

健全で心地よい暮らし方を提案する当社グループの世界観をビジュアルで表現

グローバルブランドとして

グループ各社が主導して事業領域を拡大

リンナイは海外売上高比率の拡大を目標に、アメリカと中国を戦略市場と位置づけ、日本を含む18の国・地域の拠点から、世界80ヶ国以上に商品を展開しています(2020年3月末現在)。当社グループは雇用面を含む地域社会への貢献と為替リスク回避の観点から、現地生産・現地販売を基本に事業展開を行っています。

中国市場では数多くの競合他社の中で、上海林内はリンナイブランドの品質が高く評価され、給湯器とボイラーを中心に収益性のある付加価値販売を実現しています。

リンナイアメリカではガスタンクレス給湯器の販売台数が2015年に20万台を超え、2018年4月から米国ジョージア州のグリフィン工場(賃借)で現地生産を開始しました。2018年の販売台数は30万台に達し、さらに自社所有の新工場建設を決定しています(P12参照)。また、リンナイアメリカでも国内と同様に新事業領域の拡大を目的としたマーケティングセクションを設置しています。さらに、リンナイオーストラリアは以前から電気機器の販売や、現地の冷暖房機メーカープライビス社の買収など、M&Aを中心として自立的に事業領域を広げています。日本主導に限らず、グループ各社が現地ニーズに基づいて新分野での事業開拓を進め、成功事例をグループ全体に展開するなど、柔軟な体制で事業領域の拡大を図っています。また、主要拠点には日本から技術者や若手社員を駐在させ、グローバルな観点での人材育成に取り組んでいます。



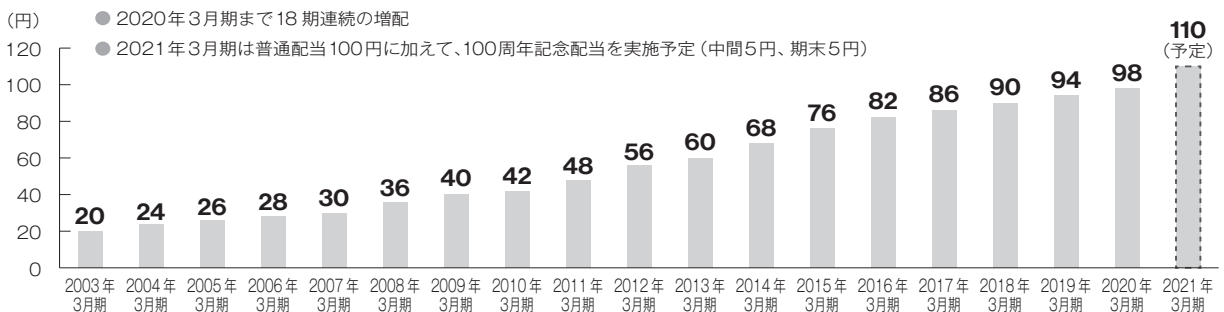
ステークホルダーの皆様へ

将来の成長を見据えた成長戦略を実施

当社は2020年3月期にて連続18期の増配を継続いたしました。また、2021年3月期は創業100周年記念配当として1株当たり10円を加えて、年間110円の配当を予定しております。当社におきましては、安定成長を背景に大規模災害への備えを強化するとともに営業拠点・工場など施設修繕などの設備投資を推進してまいりました。今後はさらに新規事業やM&Aなど将来への先行投資と株主の皆様と従業員への還元についてバランスをとった資本政策を推進いたします。

創業100周年事業として社内では「明日のリンナイ提案大賞」を実施するなど、リンナイの将来を担う若手の育成と社内の活性化に力を注いでいます。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより短期的な事業環境は不透明ですが、リンナイは日常生活に不可欠かつ付加価値の高い熱機器等を提供しており、中期的な需要動向は安定的です。今こそ、将来に向けた施策を着実に実施する所存です。今後とも株主の皆様にはご理解とご支援を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

1株当たり配当金の推移





100th Anniv.

つないだ情熱を 次の100年へ。

2020年9月1日、リンナイは創業100周年を迎えます。当社グループは時代のニーズに対応し、暮らしに貢献する多様な商品・サービスを提供し続けてまいりました。1970年代から推進したグローバル展開においては、現地に暮らす人々の生活文化の向上と雇用に貢献することをポリシーとして事業活動を行ってまいりました。

1974年

リンナイアメリカ、
リンナイコリアを設立



現在のリンナイアメリカ本社(左)と
グリフィン(リース)工場(右)



現在のリンナイコリア

1975年

リンナイニュージーランド、
伯陶リンナイ機器を設立
現：リンナイブラジルヒーターテクノロジー



現在のリンナイニュー
ジーランド



現在のリンナイブラジル
ヒーターテクノロジー

1973年

リンナイマレーシアを設立

1970年

台湾林内工業を設立。現地社
会への貢献をポリシーとする
海外展開を本格的に開始



現在の台湾林内工業

1971年

リンナイオーストラリアを設立



現在のリンナイオーストラリア

1937年

天津市を拠点として華北一円の
市場に石油ガスコンロを展開



創業
1920年

創業～1960年代

1950年

株式会社に改組し、
社名を株式会社林内製作所とする

株式会社 林内製作所

1971年

社名をリンナイ株式会社に變更

リンナイ株式会社

1970年代
海外事業を本格スタート

1993年

上海林内を設立



現在の上海林内(左)と体感型ショールーム(右)

2015年

ドバイ駐在員事務所を開設



現在のドバイ駐在員事務所

2009年

リンナイカナダ
ホールディングスを設立

2008年

リンナイイタリアを設立



現在のリンナイイタリア

2019年

オランダにリンナイ
トレーディングを設立

2020年9月1日

創業

100周年

2019年

グローバルブランドへ向けて
リンナイブランドロゴを一新

Rinnai

1991年

リンナイシンガポールを設立

現:リンナイホールディングス(バンフィック)

1990年

リンナイタイを設立



現在のリンナイタイ

1998年

林内香港、
リンナイベトナムを設立



現在のリンナイベトナム

1988年

リンナイインドネシアを設立



現在のリンナイインドネシア

2000~2010年代
海外売上高比率50%超へ



2008年

ガス瞬間式給湯器で、アメリカの省エネ
推進機構より「スーパーノバスター
アワード(エネルギー効率大賞)」を受賞

1980~1990年代
海外拠点を広げ、着実に成長



2008年

リンナイインドネシア、テーブル
コンロ部門でベストブランド賞
を初受賞。以来12回連続受賞



連結売上高

2020年3月期

連結売上高 3,404億円

海外売上高 1,669億円

海外売上高比率 49%

2015年3月期

40%超

2019年3月期

50%超

2006年3月期

30%超

2000年3月期

20%超

海外売上高比率

1997年3月期

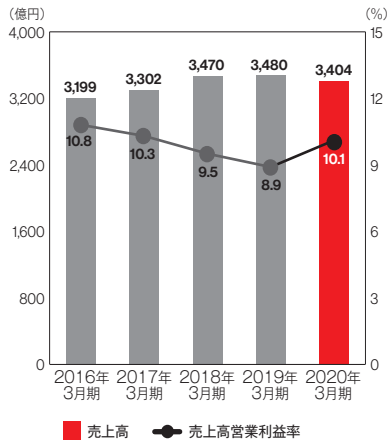
10%超

海外売上高

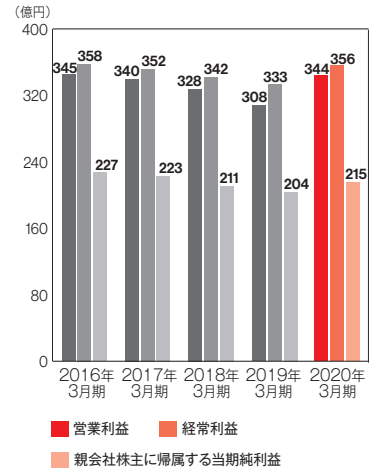
2020年3月期のポイント

- 売上高は海外事業の売上低下により**10期ぶりの減収**も、日本での増収効果や原価低減努力、またアメリカでのタンクレス給湯器の好調な販売により営業利益は**4期ぶりの増益**
- 1株当たり配当金は98円、**18期連続の増配**

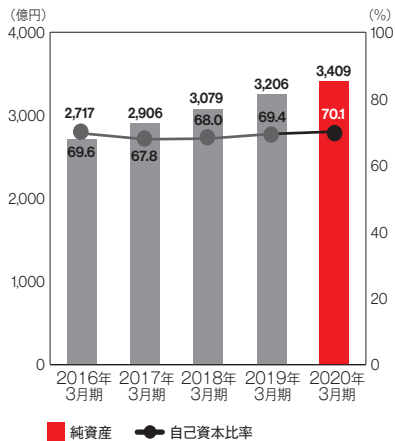
売上高、売上高営業利益率



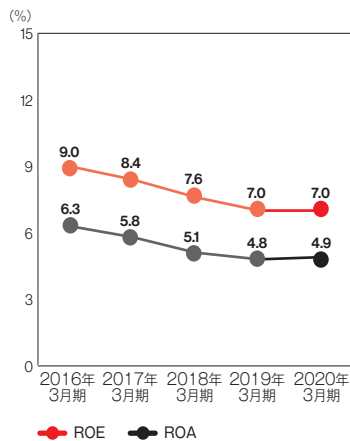
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益



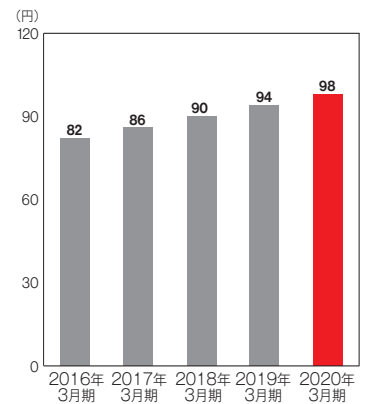
純資産、自己資本比率



ROE、ROA



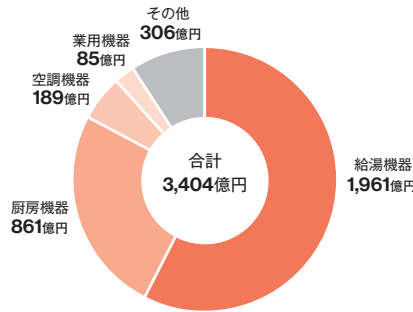
1株当たり配当金(年間)



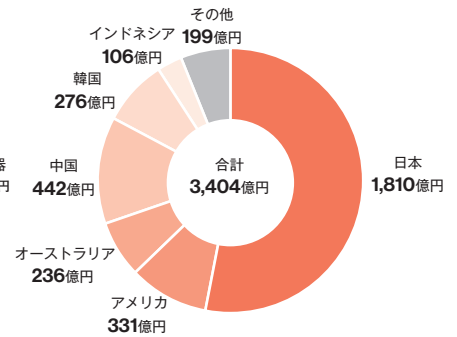
機器別売上高のポイント

- 給湯機器は海外において中国や韓国のボイラー販売が前期を下回り**減収**
- 厨房機器は海外において韓国やインドネシアのテーブルコンロ販売が前期を下回り**減収**
- その他は日本においてガス衣類乾燥機が伸長し**増収**

機器別売上高

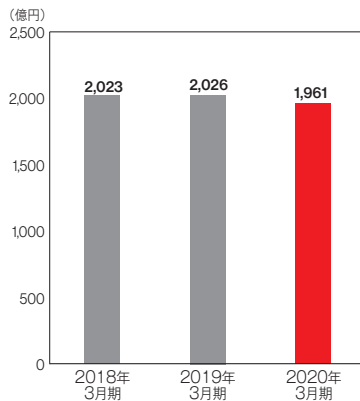


地域別売上高

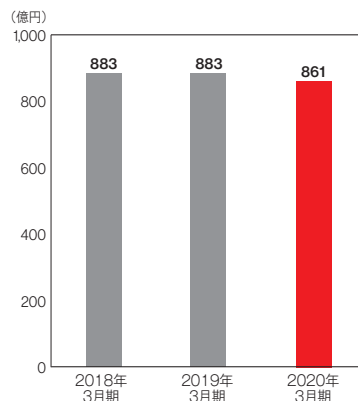


部門	主要製品
給湯機器	給湯器、ふろ給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム等
厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、オープン、食器洗い乾燥機、レンジフード、炊飯器等
空調機器	ファンヒーター、F F 暖房機、赤外線ストーブ等
業用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器等
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品等

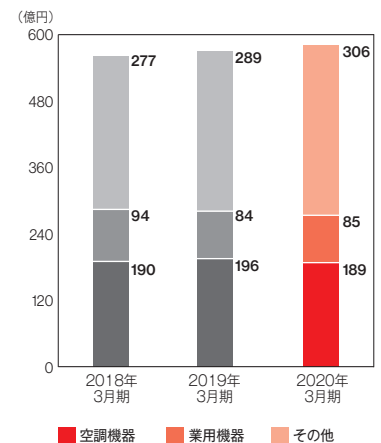
給湯機器 売上高



厨房機器 売上高



空調機器、業用機器、その他 売上高

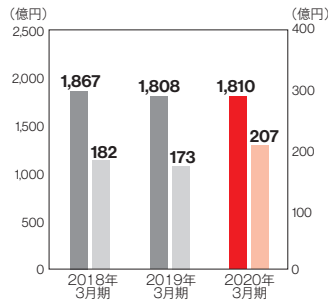


地域別概況

日本



高効率給湯器 エコジョーズ レンジフード ビルトインコンロ 衣類乾燥機



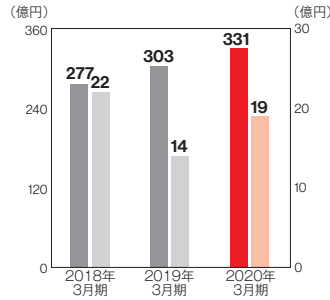
消費税増税前の駆け込み需要の反動減があったもののガス衣類乾燥機やビルトインコンロの伸長で増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益

アメリカ



タンクレス給湯器 FF暖房機



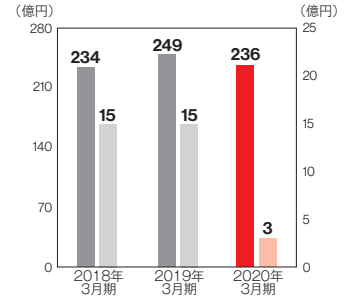
利便性の高いタンクレスガス給湯器の販売拡大に加え、高効率タイプの割合が増加し増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益

オーストラリア



タンクレス給湯器 電気貯湯式給湯器 ダクト式冷暖房システム



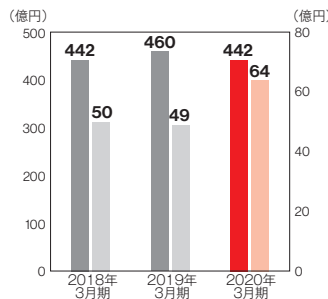
現地販売は好調も為替影響により減収、また現地通貨安により仕入れコストの上昇により減益

■ 売上高 ■ 営業利益

中国



タンクレス給湯器 ビルトインコンロ レンジフード



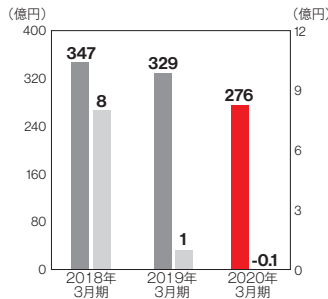
ボイラー需要の大幅減少で減収も、給湯器の販売増と広州林内燃器具電器を連結子会社化したことで増益

■ 売上高 ■ 営業利益

韓国



テーブルコンロ ボイラー 業務用スチームオープン



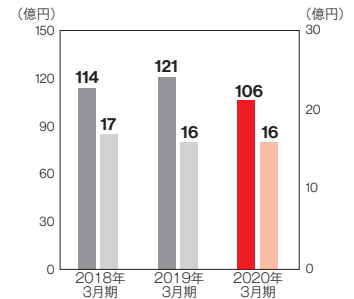
景気低迷や他社の安価攻勢で主力のガスコンロやボイラーの販売が減少し減収、営業損失

■ 売上高 ■ 営業利益

インドネシア



テーブルコンロ ビルトインコンロ



高価格帯のビルトインコンロやレンジフードは回復傾向も、主力のテーブルコンロに力強さがなく減収減益

■ 売上高 ■ 営業利益

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

当期末 (2020年3月31日現在)
前期末 (2019年3月31日現在)

	当期末	前期末
資産の部		
流動資産	294,713	280,891
固定資産	155,773	149,993
有形固定資産	84,633	82,854
無形固定資産	3,480	5,743
投資その他の資産	67,659	61,395
資産合計	450,486	430,885
負債の部		
流動負債	86,607	88,350
固定負債	22,919	21,838
負債合計	109,527	110,188
純資産の部		
株主資本	307,153	289,495
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	293,807	276,143
自己株式	△1,870	△1,864
その他の包括利益累計額	8,461	9,640
非支配株主持分	25,343	21,560
純資産合計	340,959	320,696
負債 純資産合計	450,486	430,885

連結損益計算書 (単位: 百万円)

当期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)
前期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

	当期	前期
売上高	340,460	348,022
売上原価	227,885	235,915
売上総利益	112,575	112,106
販売費及び一般管理費	78,153	81,227
営業利益	34,422	30,879
営業外収益	2,328	2,801
営業外費用	1,070	362
経常利益	35,679	33,318
特別利益	-	69
特別損失	844	222
税金等調整前当期純利益	34,834	33,164
法人税等	9,144	9,162
当期純利益	25,690	24,001
非支配株主に帰属する当期純利益	4,128	3,521
親会社株主に帰属する当期純利益	21,561	20,480

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

当期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)
前期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,694	29,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,124	△7,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,436	△6,150
現金及び現金同等物の期末残高	140,138	116,133

「健康と暮らし」を提案するリンナイから新商品

バスタイムに 驚きと感動を届ける マイクロバブル バスユニット

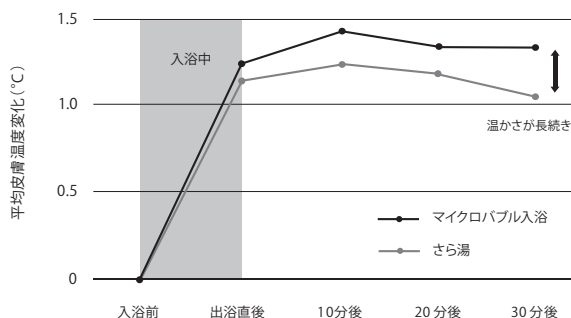
4月21日発売


特長
1

包み込む泡で温まりが持続

包み込む泡によってお湯の熱が身体に穏やかに伝わり、湯上がり後も身体がぼかぼかした感じが持続します。

入浴前を基準とした平均皮膚温変化量の時間経過



< 実験条件 >

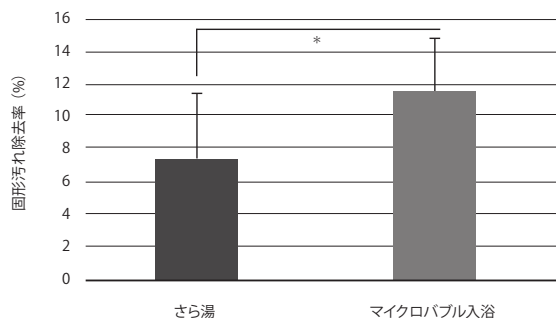
2019年度日本福祉大学と東邦ガス株式会社の共同研究
 被験者：健康な30代女性7名
 浴室環境：気温29℃/湿度97%
 入浴方法：湯温 40℃で10分間の全身浴

特長
2

微小な泡で皮膚表面の汚れをやさしく落とす

マイクロバブルの微小な泡が皮膚表面に付着したチリやホコリ混じりの汚れをやさしく落とします。

模擬固形汚れ除去率



< 実験条件 >

2019年度リンナイ株式会社試験データ
 模擬汚れ(牛脂とカーボンブラック10%の混合物)を腹部に塗布し、色彩色差計にて入浴前後に明度を測定。入浴前後の明度値から除去率を算出。
 被験者：健康成人男性6名
 入浴方法：湯温 38℃で10分間の全身浴
 *有意確率5%未満で統計的有意差あり

※本製品を使ったマイクロバブル入浴により、体の汚れが全て落ちるわけではありません。

リンナイアメリカが新工場建設に向けて、総額 70 百万 US ドルの増資を実施



新工場(グリフィン工場)イメージバース

リンナイアメリカはジョージア州グリフィンに自社所有の新工場（グリフィン工場）の建設を決定し、着工に向けた準備を進めています。同社はタンクレス給湯器が好調な米国市場において、2018年4月より賃借によるリース工場で家庭用ガス瞬間式給湯器の生産を開始しています。新工場にかかわる総額63百万USドルの設備投資にあたり、70百万USドルの増資を実施しました。なお、グリフィン工場の生産能力は年間20万台となる見込みであり、同工場の稼動後はリース工場での生産を終了します。

ドミノ式ビルトインコンロ G-LINE シリーズが 国際的なデザイン賞「レッドドット・デザイン賞 2020」を受賞



リンナイのドミノ式ビルトインコンロG-LINEシリーズが、世界的に権威のある国際的なデザイン賞「レッドドット・デザイン賞 2020」の「プロダクトデザイン」部門で受賞しました。G-LINEシリーズは高級キッチン向けモジュールタイプのドロップインコンロシリーズです。ユーザーのライフスタイルに合わせて熱源や個数、配列を自由にできるほか、海外の方にも使いやすいピクトやパラメーターによる言語に頼らない操作表現とスタイリッシュなデザインを追求しています。



reddot winner 2020

「健康経営銘柄2020」に4回目の選定



リンナイでは従業員の健康づくりに向けて人事部に専任部署（厚生健康チーム、健康支援室）を設置し、健康保険組合・従業員組合・会社の三位一体で、従業員の健康づくりの活動を進めています。その成果の一環として、リンナイは経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄2020」に選定されました（4回目）。また、「健康経営優良法人（大規模法人部門）2020～ホワイト500～」（主催：経済産業省）にも併せて選定されました（3回目）。

「健康経営銘柄」とは？

2015年から実施されており、東京証券取引所の上場企業の中から、社員などの健康管理を経営的な視点で戦略的に実践している企業を選定し、長期的な視点で企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業を紹介しています。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

会社データ・株式の状況

会社概要 (2020年3月31日現在)

創 業 1920(大正9)年9月1日
 設 立 1950(昭和25)年9月2日
 資 本 金 6,459,746,974円
 本 社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
 TEL 052-361-8211 (代表)
 従業員数 連結10,451名、単体3,758名

国内ネットワーク (2020年3月31日現在)

生産関連拠点：技術センター、生産技術センター、総合物流センター、東日本物流センター、リンナイパーツセンター、大口工場、瀬戸工場、曉工場

支社：東北、関東、中部、関西、九州

支店：北海道、北東北、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、東海、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡

営業所・出張所等：(94カ所)

その他国内事業所：研修センター (11カ所)、お客様センター

役員 (2020年6月26日現在)

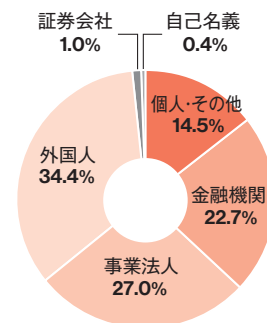
代表取締役会長	林 謙治	常務執行役員	森 錦司	常勤監査役	石川 治彦
代表取締役社長 社長執行役員	内藤 弘康	執行役員	白木 英行	監査役	進士 克彦
代表取締役 副社長執行役員	成田 常則		中島 忠司		松岡 正明
取締役 専務執行役員	小杉 将夫		大井 裕久		渡邊 一平
	近藤 雄二		兼子 輝将		
取締役	松井 信行		松本 和彦		
	神尾 隆		清水 正則		
			井上 一人		
			江端 健一		
			谷岡 克則		
			小川 拓也		
			穂谷野弘幸		
			石川 文信		
			遠藤 健治		

(注) 1. 取締役の松井信行、神尾隆は、社外取締役であります。
 2. 監査役の松岡正明、渡邊一平は、社外監査役であります。

株式構成 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式数 51,616,463株 (自己株式を含む)
 株主数 4,166名

所有者別株式分布



リンナイグループ (2020年3月31日現在)

国内子会社・関連会社 (14社)

製品の製造販売

- (株)柳澤製作所
- リンナイテクニカ(株)
- (株)ガスター

製品の販売

- リンナイネット(株)

部品の製造販売

- アール・ビー・コントロールズ(株)
- リンナイ精機(株)
- アール・ティ・エンジニアリング(株)
- ジャパンセラミックス(株)
- 能登テック(株)
- テクノパーツ(株)

その他の事業

- リンナイ企業(株)
- 他3社

海外子会社・関連会社 (34社)

持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス(パシフィック)(株)

製品の製造販売

- リンナイアメリカ(株)
- リンナイオーストラリア(株)
- 上海林内有限公司
- リンナイコリア(株)
- リンナイインドネシア(株)
- リンナイニュージーランド(株)
- 台湾林内工業股份有限公司
- リンナイタイ(株)
- リンナイベトナム(有)
- リンナイブラジルヒーティングテクノロジー(有)
- リンナイマニュファクチャリングマレーシア(株)

製品の販売

- リンナイイタリア(有)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス(株)
- 上海林内熱能工程有限公司
- 広州林内燃具電器有限公司
- リンナイプラス(株)
- リンナイマレーシア(株)
- リンナイUK(株)
- リンナイトレーディング(株)
- セントラルヒーティングニュージーランド(株)
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

部品の製造販売

- アール・ビー・コリア(株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- アール・エス・コリア(株)
- 三国FK精密(株)

その他の事業

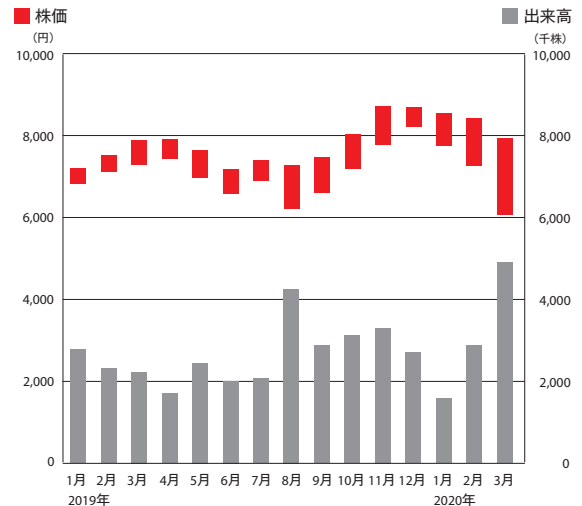
- ガスアプライアンスサービス(株)
- 他6社

● 連結子会社 ● 非連結子会社 ■ 持分法適用関連会社 ■ 持分法非適用関連会社

大株主 (2020年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)
内藤株式会社	6,215
株式会社好兼商事	3,502
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,962
林 謙治	2,454
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,097
ミサキ エンゲージメント マスター ファンド	1,867
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,131
ピーエヌワイエム アズ エージーティ クライアンス 10パーセント	1,058
東京瓦斯株式会社	784
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	782

株価の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
定時株主総会	毎年6月	特別口座の口座 管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00~17:00 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株	(電話照会先)	
公告方法	電子公告により行います。 https://www.rinnai.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。	株式の上場	東京および名古屋証券取引所 市場第1部

株式に関するお手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払いのお申し出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先

- ① 証券会社に口座をお持ちの株主様の場合 ② 証券会社に口座をお持ちでないため、特別口座が開設されました株主様の場合
お取引証券会社等 三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

かんたん便利、交換部品やお手入れ用品はネットショップで注文できます！

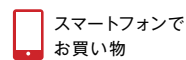
リンナイスタイル
R.STYLE



<https://www.rinnai-style.jp>

リンナイスタイル

Q検索



リンナイ株式会社

<https://www.rinnai.co.jp/>

〒454-0802 名古屋市千川区福住町2-26
TEL 052-361-8211

